

ゆんたく

2025年3月
都島
Vol.40



ゆんたく編集委員 都島児童館 米谷 征哉
都島乳児保育センター 林 大介
成育児童センター 錦城 栄旭

あとがき
ゆんたく創刊から今回で40号という節目を迎えました。平成から令和へ時代が移り変わる中で私たちを取り巻く環境は大きく変化し続けています。ゆんたくの編集は創設95年を迎え、いたくことで「古きを訪ねて新しきを知る」法人の歴史やたくさんの方々からゆんたく編集委員に新しい仲間を迎え、発想力・デザイン力が格段にパワーアップしました。前々号から前号、今回の40号と職員で作成した『ゆんたく』を一人でも多くの方にご覧いただければ幸いです。



法人基本理念

社会福祉法人都島友の会は、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう創意工夫し、利用者の個人の尊厳を保持しながら、子どもたちの心身ともに健やかな育成と、個人が持っている能力に応じ、自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを基本理念とする。





さらに高齢施設ひまわりの郷の入居者90名、友測デイサービス1日利用者数20名、訪問介護ひーぐるまの1日利用者数20名と、日々利用される方がおられます。

時代と共に都島区の生活環境は大きく変化し、大企業のカネボウ(株)、十條製紙(株)、雪印乳業(株)、ミドリ十字(株)、染物工場が撤退した跡は大規模マンション街となり、一時は大変なベビーブームでしたが、半世紀過ぎた現在は高齢者住宅となりつつあります。その間、公立保育所が民営化になり、株式会社の小規模保育園、他法人の民間保育園が参入したことで、児童施設、高齢施設が増えてきました。

しかし、少子化時代となった現在「だれでも通園」「一時保育」「子育てサロン」「病後児保育」等、通常保育以外にも手を差し伸べ、子どもを生み育てる若い人達、高齢者にも安心して住み続けられる地域になるよう、0歳から100歳の方々が安心して過ごしていただけるように、当法人には沖繩を含め18カ所の施設があり、さらに小さな役場として地域の皆様が気楽に相談できる窓口も設けています。

それらの福祉の種を蒔いた創設者・比嘉正子についての物語はいくつか紹介してきましたが、この度は連載することになりました。

2025年3月17日午前11時、WEB小説を公開します。

さらに毎週月曜日午前11時に更新しますので、よろしくお願ひします。

社会福祉法人 都島友の会
理事長 渡久地歌子



0歳から100歳の方々が

安心して過ごしていただけるように。

WEB小説『蒼天に咲くひまわりの愛』

現実を踏まえ、将来を志向し、実践によって現実を変え続けていくと日々語っていた比嘉正子の物語です。ぜひ開いてみてください。

監修：社会福祉法人 都島友の会
著者：井上 昌子 挿絵：中塚 真



WEB小説は
こちらのQRコードから

<https://lab-rta.com/>



この間、引越し等で中途退園児200名以上がおられます。
都島乳児保育センター、都島第二乳児保育センター、友測乳児保育センターの0〜2歳までは、3歳になりますとそれぞれの児童センターへ進級しますので含みません。

2025年4月は利用者数(大阪・沖繩含め)1300名、職員400名、合わせて1700名以上での出発になります。

都島児童センター	8,008名
ひがみや児童センター	1,502名
友測児童センター	1,974名
桜宮児童センター	1,006名
成育児童センター	214名
それいゆ	197名
渡保育園(沖繩)	1,467名
松島保育園(沖繩)	852名

合計 15,220名(令和7年3月末)になりました。

社会福祉法人 都島友の会は、都島公園の青空保育から1931年(昭和6年)3月1日に都島幼稚園として生まれ、2025年(令和7年)3月1日で94歳になりました。第1期卒園生は今年100歳になります。都島地域の皆様に支えていただきながら共に歩み、令和7年3月末までに巣立った卒園児童数は、

保護者会94年の歩み

～母の会から保護者会へ～

成育児童センター

親子で「室内遊び」・「しゃぼん玉遊び」、子ども達は「交通安全教室」や「阪神タイガースふれあいイベント」に参加し楽しい時間を過ごすことができました。また、今年度も「リサイクルイベント」を通して卒園児からいただいた制服や体操服をたくさんの方にお渡しすることができました。



都島児童センター



給食のメニュー「沖縄のじゅーしー」と「唐揚げ」の持ち帰りイベントを委託業者ジャパンメディカルフードさんに協力して頂き、各200個限定で販売！！

「給食の味付けが知れてよかった！」「子どもたちが喜び、夕食がより楽しい雰囲気になった」などの声を頂きました。

友渕児童センター



イチゴ劇場さんが来てくれました。ペープサートやバルーンアート等、「楽しい」が盛りだくさん！子どもたちの笑い声やビックリな表情がたくさん見られました。

ひがみや児童センター



「咀嚼」に関するイベントを行いました。
第1弾は、『親子でとうもろこしを食べよう』
第2弾は、『おせんべいをしっかり噛んで食べよう』
第3弾は、『親子でぜんざいを食べよう』でした。園だけでなく保護者も一緒に「咀嚼」について考える1年となりました。

桜宮児童センター



「移動動物園」、「イチゴ劇場」、「音楽コンサート」を開催してもらいました。動物との触れ合いや、ペープサートの観覧、楽器演奏を聞いて楽しむことができました。

都島第二乳児保育センター



『みんなで喋ろ(^.^)パパもママと一緒に喋ろ』と題して園内で座談会を行いました。最初は、お互いに少しよそよそしく緊張感が漏れ出していましたが、話が進むと…あっちからもこっちからも笑い声が聞こえてきました。年齢は違えど悩みは同じだったり、一年後の姿や昨年度の姿が重なり「あるある！」「うちもそう！」と共感し合ったりする姿がとっても印象的でした。

都島乳児保育センター



お楽しみ企画を計画しました。桜の花びらにシールや模様を描き、1人ひとりが木の枝にのりで貼り付けました。最後には大きな桜の木が完成！都島乳児保育センターには一足早く桜の花が咲きました。

昭和初期の「生活第一」の時代から社会が豊かになり子育てを取り巻く環境も大きく替わってきている今日にあっても家庭での「子育て」、施設での「教育・保育・療育」を通して人（家庭）と人（施設）とが支え助けあうことができるように…子ども達の未来のために結びつきを強固なものとして「困っている」ことがあればみんなで共有し「つなぎたい」で大きな力に変えていけたらと思います。

母の会の伝統を引き継ぐ保護者会。保護者会運営委員会の方を中心に季節の行事から、アイディアと趣向を凝らしたイベントを開催していただいています！

都島友渕乳児保育センター



『都島友渕乳児保育センター』×『パラダイス』の略で『ともパラ』を年2回行い、親子で楽しい時間を一緒に過ごしました。保護者の方、手づくりの『おかしレイ』も子ども達に大人気でした！

ゆつくり、じつくり。子どもに寄り添う

「都島友の会の乳児保育」

昭和35年、日本で最初の乳児保育の専門施設として都島乳児保育センターを立ち上げた都島友の会。昭和48年には都島第二乳児保育センター、平成13年には都島友友乳児保育センターを開設。以来法人では先輩方の知恵や工夫に学びながら、乳児保育のエキスパートとして数々のノウハウを蓄積し日々新たな保育のスキル向上に努めているところです。

共通の理念、統一された保育に基づく法人各園の乳児保育の様子を乳児ならではの可愛らしい姿と共にお届けします。

都島乳児保育センターより
0歳児の姿



いつもにぎやかで元気な0歳児クラスのリス組。入園当初はまだ「ハイハイ」だった子も、今では色々なところへ歩いていきます。

子どもたちは言葉では伝わり伝えることは難しいですが、仕草や表情、泣いたり笑ったり、様々な表現で思いを伝えようとしています。その気持ちを保育士も汲み取りながら日々、丁寧な保育を心がけています。



都島第二乳児保育センターより

1歳児の姿



令和6年度は1歳児クラス25名を1チーム8~9人、合計3チームの「ゆるやかな担制保育」をスタートしました。個々のペースに合わせて今までのクラス単位とは違う、もっと少ない人数で行うため、子どもたちもすぐに欲求を満たされ満足。保育士も発達段階をしっかりと把握し「今」何が必要かがより分かるようになりました。この動きを導入して保育士たちの感想は「子どもが落ち着くのが今までの数倍、早かったです」です。現在は、進級に向けてチームも保育士もシャッフルし、2チームにして過ごしていますが少人数でしっかりと関わり、より個性に磨きをかけている子どもたちです。

子どもが落ち着いて過ごす保育士にも余裕が生まれ、1歳児ならではの「自分で!」の自我の育ちにもきちんと向き合えるようになりました。(以前は、ついつい手を貸してしまう場面が多々ありました。)

まだまだ始まったばかりで課題もありますが保育者間で話し合うことが自然とコミュニケーションになり、アイデアを出し合い、工夫しながらこれぞ保育士の醍醐味!と楽しんでます。この流れが人材育成にも繋がっていると感じます。今までのノウハウを活かし、そこへ「ゆるやかな担制保育」という新たなエッセンスを加え、一瞬一瞬が子どもも保育者も「楽しい!」と思える保育を大切にしていきます。

都島友友乳児保育センターより

2歳児の姿



2歳児になると運動能力が発達し、できることがぐんと増え、あそびの範囲も広がります。一生懸命、自分の思いを言葉で伝えようとする愛らしい姿が増える時期でもあります。

これまで大人にしてもらっていた身の回りのことを自分でチャレンジしようとする姿が見られ「自分でやりたい!」の意欲を大切に、できたことを大いに認めながら日々子どもたちと関わっています。

自分でできた時の達成感に満ち溢れた子どもたちの笑顔は最高です。

天気の良い日は、近隣の公園に散歩に出かけ、しっかりと歩き、公園で身体を動かし楽しく遊ぶ中で、社会性をはぐくめるようにしています。また、友だちと言葉でのやり取りをしながら関わりを楽しむことができるように保育士が、自我の育ちをしっかりと受け止めて、一人ひとりを大切にしています。



簡単なセリフや動作を覚えて表現できるようになりました。当日は、大好きなお家の方に見守られ、笑顔いっぱいステージでした。



成育児童センター

体育、英語、音楽、プログラミング…と各教育活動に興味いっぱいの子ども達の瞳からは「やってみたい!」という好奇心が溢れています。
成育児童センターでは4、5歳児縦割り保育の中で和太鼓の練習の場面や「当番活動」の引き継ぎの場で4月から小学生になる5歳児から4歳児へ「楽しいのバトン」が引き継がれています。



毎朝の放送当番では緊張しながらマイクに向かう4歳児の耳元で放送内容を教える5歳児。
4歳児が5歳児をとて信頼していて放送する姿は1年間の結びつきを深く感じる場面です。



ひがみや児童センター

毎年保護者会よりお年玉をいただきます。0、1歳児は、紙風船と吹き戻しをもらい、2歳～5歳児はコマをもらいます。学年によって難易度の上がるコマに最初は、「回せない」と難しそうな子どもたちですが、何度も回しているうちに上手に回せるようになり、友だちとどちらが長く回せるかと勝負しています。



1月のお楽しみ会で福笑いにチャレンジ!
目をつぶって「こっちなかな?」「違うかな?」と悩みながら顔を作っていきます。



友朋児童センター



4歳児の進級遠足では、淀川河川敷公園まで歩いてきました。手作りの紙飛行機を飛ばしたり、お弁当を食べたりと楽しい時間を満喫♪



都島児童センター



六甲山スノーパークへ雪遊びに行ってきました!
寒さと雪の量に驚きながらも目をキラキラさせていた子どもたち。
そり滑りに夢中になり、大きな雪だるまも作ることができて最高の思い出になったこと間違いなしです!

桜宮児童センター



姉妹園交流 ドッチボール大会。
広いグラウンドに友の会の5歳児クラスが集合!
「優勝するぞ!」と気合十分で臨んだドッチボール大会、グラウンドいっぱいに熱い試合が繰り広げられました。



毎日がワクワクだらけ!

認定こども園活動報告

病後児ルーム ひまわり

都島友渕乳児保育センター内に「病後児ルームひまわり」があります。大阪市の病児・病後児保育事業として平成17年4月に開設。

「病後児ルームひまわり」は、今年20年目を迎えました。体調に不安のあるお子様は、普段通われている園や小学校に登園(校)できない場合があります。急性期を過ぎ、回復期において集団生活が困難、仕事等の事情により家庭での静養が難しい場合に、専任の看護師・保育士がお預かりします。

「病後児保育」は、保護者の方が家庭と仕事を両立する上での「セーフティネット」としての重要な役割も果たしており、都島区で唯一の「病後児保育施設」として、職員一同使命感に燃えています!!



病気回復期にあり、集団生活が困難な、大阪市の保育施設や小学校に通園、通学しているお子様ならどなたでもご利用いただけます。

※骨折、けがなどの外傷性疾患の場合も受入れ可能です。 ※利用の際には「医師連絡票」が必要です。

※『都島友渕乳児保育センター』のホームページ「病後児ルーム ひまわり」をご覧ください。

(年に1回、登録が必要です)



▶ 運営主体 都島友渕乳児保育センター

大阪市都島区友渕町1-6-3

☎ 06-6929-1580

【 開室日時 】

月曜日～土曜日 8:00～17:00

(日・祝はお休みです)

延長保育 17:00～18:00

(別途料金がかかります)

大阪市地域子育て支援拠点事業 つどいの広場

フレンドリーともぶち・フレンドリーせいいく

都島区友渕町にある『つどいの広場 フレンドリーともぶち』。城東区成育にある『フレンドリーせいいく』。家庭で子育て中の親子(おむね3歳未満)が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い交流を図ることができる身近な場として、地域に開放しています。

『親子で安心して遊べる場』

年齢が小さければ小さいほど遊ぶ場所に困ってしまう…。そんなお悩みを解決！ ゆったりとした室内で、安心して過ごしていただけます。

『楽しいイベントが盛りだくさん!』

離乳食説明会や季節ごとの制作・ブックスタートなど様々なイベントを行っています。



『交流&情報交換の場』

子どもたちはもちろん、保護者同士の交流も目的のひとつ。少人数なので自然と利用者同士が繋がり、子育ての悩み、子どもたちの面白エピソード、病院・保育園・幼稚園などの情報交換をしています。

▶ 運営主体 成育児童センター



フレンドリーせいいく

〒536-0007

大阪市城東区成育2-2-2

ナニワランド野江1F

☎ 06-6935-6800

▶ 運営主体 友渕児童センター

フレンドリーともぶち

〒534-0016

大阪市都島区友渕町

2-7-17-107ハイソ

プライム1F

☎ 06-6924-9405

【 開室日時 】

フレンドリーせいいく、フレンドリーともぶち

平日 月～金曜日10:00～15:00

(土・日・祝はお休みです)

※通常利用の予約はいりません。イベントのみ予約優先制です。



子育て支援 一時預かり事業 すくすく組

大阪市からの委託事業として一時預かり事業は、平成4年度にスタートしました。当初は、各クラスで受け入れをしていましたが、多くの利用希望に応える方法を検討した結果、一時預かり事業の単独のクラス『すくすく組』が22年前に誕生しました。

すくすく組では、保護者の様々な理由(就労・育児の負担緩和・出産・傷病・介護など)に寄り添いながら保育を行っています。主に0歳児から2歳児の利用があり、異年齢児保育を行う中で互いに刺激を受けたり与えたりしながら共に成長しあっています。週に数回、中には月に数回利用の子どもたちの保育には、工夫や配慮が必要となり、職員間で常に意見を交換しながら、安全に過ごせるよう、そして安心して利用していただけるよう取り組んでいます。今年度は、特に0歳児の問い合わせや利用が年間を通してとても多く、調整の困難さもありましたが、利用者みなさまにご理解、ご協力をいただきながらすすめることができました。これからも『すくすく組を利用してよかった』と思っていただけるよう、子育て支援としての役割を果たしていきたいと思っています。



地域子育て支援センター のびのび

大阪市からの委託事業として平成10年度にのびのびはスタートしました。地域の子育て支援の拠点として親子で安心して過ごせる場所づくりを心がけています。～ゆっくり ゆったり みんなで子育てで楽しく子育て～これは、私たちがいちばん大切にしている思いです。みなさんがほっこりとできる場所を目指し、子育て情報を提供したり、つながりづくりをお手伝いしたりしています。

現在は、開室時間を3部に分け、年齢ごとに利用できるようにしています。年齢に見合ったあそびの環境をつくり、みなさんが楽しく遊びこめるよう工夫したり、年齢ならではの悩みや気づきを話しやすい雰囲気づくりを心がけています。Instagramでは、日ごろの様子やイベントのお知らせも見ていただけます。みなさんの子育てを応援しています。ぜひあそびにいらしてください。



『のびのび』のInstagramはこちら!



▶ 運営主体 都島第二乳児保育センター

〒534-0021

都島区都島本通3-16-10

☎ 06-6921-7221

【 開室日時 】

すくすく組 平日 月～金曜 9:00～17:00

(土・日・祝はお休みです)

のびのび

平日 月～金曜 10:00～15:00

(土・日・祝はお休みです)



育児の楽しさ、悩み、どんな話でも聞かせてください
子育てのお手伝いをさせてください

都島友の会では地域貢献のひとつとして子育て中の方々に向けてさまざまな事業を行っています。親子で楽しく過ごせる場や機会の提供、子育て中の親子の仲間づくりのサポート、育児情報の提供など、地域の皆さんが子育てを楽しめるように、不安が少しでも和らぐように…と考えています。どなたでもぜひ気軽にご利用ください。

都島児童館

現在、都島児童館には3施設合わせて100名以上の子どもたちが児童館で生活しています。それぞれ特徴や雰囲気を活かしながら、どの施設も子どもたちが主体的に活動することで個性的で素敵な「色」を作り出すことができています。



都島生活クラブ1組・2組

部屋数が多く、子どもたちの活動に合わせ、高学年の基地・工作の部屋・遊び部屋・読書の部屋と別れていす。ここ数年高学年の子どもたちも増えてきたので、少し大人の目から離れ、子ども集団だけでも活動できる環境設定が可能なのも都島生活クラブの特徴の1つだと思います！



高倉生活クラブ

この子どもたちは活発で、室内外でのあそびに全力で取り組んでいます。ワンルームなので、子どもたち同士であそびを決めやすく、時には職員も巻き込んで活動しています。また、面倒見のいい高学年のおかげもあり、異年齢でもお互いに声を掛け合えるぐらい関係性が深まっているのを日々感じています！

PICK UP!

施設同士の交流も盛んです！

都島生活クラブと中野生活クラブは、都島児童センターの園庭で一緒に活動することも良くあります。施設間の交流だけでなく異年齢での交流にもつながっています。



中野生活クラブ

施設の前には都島児童センターの大きな園庭があり、子どもたちは宿題を終えたとおやつも食べずにダッシュで外に遊びに行きます。ドッジボールやテニス、鬼ごっこなど男女年齢関係なく活動します。そこから育まれる子ども同士の関係性や世界観が日々の活動にも生き、充実した毎日を作り上げています。



合同で遠足に行くことも！天王寺動物園や街散策、ドリーム21のアスレチックやラウンドワンでボウリングなど様々な活動を通して交流を楽しみました。

こども発達サポートステーション それいゆ

こども発達サポートステーションそれいゆとは発達につまずきのあるお子さまの療育施設です。

2歳児～5歳児が単独で通園しています。

定員は30名で3クラスに分かれています。(毎日通園、併行通園)

毎日通園

- ・月～金曜日と月1回土曜日に療育を行っており、毎日バスや送迎車での送迎を行っています。
- ・生活や楽しい遊びの中で、**大人との信頼関係を築き、コミュニケーションの基礎となる力を身につけます。**
- ・写真や絵カード等を使用しながら、**見通しが持てる環境を保障し、自分から伝えることのできる機会を増やせるよう取り組みます。**
- ・体を十分動かす事ができるような遊具があり、**身体の使い方や物の操作等生活に必要なスキルを身につけます。**
- ・公認心理師・言語聴覚士・作業療法士の専門的助言を受けながら療育に活かしています。



プレイルーム

自分のボディイメージ（自分のからだの部位や大きさがこれぐらいという実感）をつかむ事ができるよう、身体認識力を身につけることを目的とし、用具、遊具などを使って安全に動く空間認知力を育みます。おもに全身を使う運動として、トランポリン、サーキット、クライミング、ボールプール、吊り遊具（スイング等）などを取り入れています。



スヌーズレン

ウォーターランプの光を感じながらゆったりとした空間でリラックスができるトータルリラクゼーションの部屋となっています。

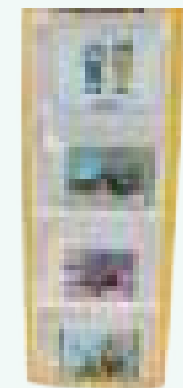
併行通園

法人内外の保育園や認定こども園に通われている発達に心配のある方が週に数回通われています。少人数で、色々なあそびを大人や友だちと経験し、コミュニケーションに必要なスキルを身につける取り組みを行っています。また、解りやすい環境の中でルールを理解し「できた！」の経験を積み、自己肯定感を獲得し自信へと繋がるようにと援助を行っています。所属先と連携を取り、お子さんに必要と思われる援助・助言を行いながら成長を促し楽しく過ごせるよう支援しています。

都島児童デイサービス(放課後等デイサービス)

- ・就学児を対象とした放課後に実施しているデイサービスです。(自宅送迎あり)
- ・個々の発達段階や障がい特性を把握し、友だちと一緒にクッキングの企画をしたり、ゲーム・話し合い等をしながら、社会生活に必要なルールの理解や相手の気持ちを知る経験、自信に繋がる取り組み等を行っています。

写真を使ったスケジュールで、活動の流れ(次の活動)がわかりやすいようにしています。



比嘉正子地域貢献事業研修センター ひまわりネットの窓には…



◎比嘉正子地域貢献事業研修センター
〒534-0021
大阪市都島区都島本通3-16-8
☎ 06-6925-1304



令和7年3月初め、突然『ひまわりネットの窓』にお客様が：「こんにちは！わかります？」と わぁーMくんやん ひさしぶり！少し勉強につまづき小学校下校時に訪れてきた少年。帰宅までのひとときオセロをし何気ないおしゃべりをし、帰っていった。なんと8年ぶり訪れた青年は大学2年生になり、将来は国語の先生になりたいと少し照れながら言う。あくる日『ひまわりネットの窓』に、10年前に病気で生きる希望をなくして話を聴いてもらったんです。あれからしばらくして鍼灸の資格を取り、今は高齢者や障がいのある方対象の訪問マッサージをしていますと、明るく笑顔で。また、その週末には「時期子育てで悩んでいたママさんが『ひまわりネットの窓』に。2番目のお子さんと明るい表情で「わかります？ ○○です」。10年ぶりに会う母は明るくたくましくなっていた。この10年間で10年の月日をどのように乗り越えられたか知る由もない。が、混とした日々を過ごし自らの力で乗り越えられたと想像できる。

暖かくなってきました。ひまわりネットにはまったりできるスペースがある。小学生たちが、ゴロンゴロンしながらコミックを読み、親子で絵本を見られる「いいね文庫」。「カフェひだまり」では罪悪感のないオートミールクッキーや手作りパイを食べながらの「おいしいコーヒの淹れ方」「お金の運用」「ハンドクレームの作り方」などのワークショップ。そして「不登校で悩む保護者の共有の場」をボランティアさんのお力をお借りしている。ポチポチ感じている。そんなワイワイした中で「今時キラキラ美容男子中高校生」の話題に。朝登校前の忙しい時間に泡フォームを使った洗顔、マイ化粧水、シャンプーも自分専用はもちろん。：そんなワークショップも企画してみようかなあと思う「春」です。



令和6年度松島保育園発表会

発表会が始まる前は、緊張している子どもたちでしたが、幕が開くと客席のお父さん・お母さんを見つけて「ママ！パパ！」と嬉しそうに手を振ったり、はりきって遊戯を楽しむ姿が見られました。発表会終了後は「上手だったよ！」と先生に褒められて恥ずかしそうにしながらも喜ぶ子どもたちでした。



つっかきう〜ぞ！ドラゴンボール♪



どんないろがすき？あかり

沖縄から届ける園の活動

作品展

今年「ディズニー」をテーマに作りました。4・5歳児クラスはスタンドグラスや花火の絵を描いてシンデレラ城を作りました。3歳児クラスは廃材で白雪姫や小人たち、2歳児クラスは廃材でトイストーリーのおもちゃのキャラクター、0・1歳児クラスはくまのプーさんの世界を作りました。できあがった作品を家族に見せてご満悦の子ども達でしたよ☆



わたるっこ祭り

2月にわたるっこ祭りがあり、スタンプカードを持って、ワニワニパニックやボウリング、輪投げ、段ボール迷路等、いろんなゲームに挑戦しました！スタンプカードにスタンプを押し、ごほうびをもらえて大喜びの子ども達でしたよ☆

渡保育園わたるっこ祭り・作品展



Together with!

1日に何回笑うだろう
1日に何回「すごいね!」って言うだろう
1日に何回「可愛い!」って言うだろう
1日に何回できるようになったことに会おうだろう
初めての一步、初めての砂遊び、初めての絵描き、
初めてのお箸、初めてのトイレ、初めての逆上がり...
1年に何回の初めてに出会おうだろう

こんなにも『発見・感動』がある仕事は素敵です。
子どもたちの日々の成長を見守り、援助しながら
自分自身もきっと成長していきます。
“誰でもはじめはできなくて当たり前、
失敗を恐れずやってみよう、先生がいるから大丈夫!”
子どもたちにだけでなく、職員同士もこの気持ちです。

採用試験

5/31± 6/28± 7/26± 8/30± 9/27± 10/25± 11/29± 12/20±

処遇・条件 (令和8年度)

経験者加算あり

給与 手当 (月額)	四大卒	259,000円
	短大・専門卒	250,000円
(基本給 四大卒214,000円/短大専門卒205,000円・処遇改善手当 45,000円含む)		
シフト手当(上限3万円)・通勤手当(上限3万円)・住宅手 当(上限2万円)・時間外手当・保育士等宿舍借上げ制度 ※都島児童館、それ以外の勤務は宿舍借上げ制度対象外		
賞与	年2回(基本給の2カ月) * 2年目から4.6カ月	
勤務 時間	7:00~18:30(開園時間) 過平均40時間以内 ※シフト制のため勤務時間は日によって異なる	
休日 休暇	日曜祝日・シフトに定める日・夏季・年末年始(年間111日) 有給休暇・特別休暇(慶弔・リフレッシュ等)	
福利 厚生	社会保険加入・退職金制度・育児介護休業制度 各種表彰・職員懇親会(年2回)・サークル活動補助・被服 (エプロン・ジャージ)支給・給食費一部負担 等	
その他	昇給(年1回)、試用期間 基本6カ月 新人研修、勤務年数経験に合わせた法人内研修あり	

勤務地 (都島区・城東区)

(園児年齢・利用定員)

幼保連携型 認定こども園	●都島児童センター	(0~5歳児・309名)
	●友渕児童センター	(0~5歳児・236名)
	●成育児童センター	(0~5歳児・96名)
	●桜宮児童センター	(0~5歳児・165名)
	●ひがみ児童センター	(0~5歳児・240名)
保育所	●都島乳児保育センタ	(0~2歳児・70名)
	●都島第二乳児保育センタ	(0~2歳児・60名)
	●都島友渕乳児保育センタ	(0~2歳児・40名)
児童発達 支援センター	●こども発達ポータルステーション	(2~5歳児・30名) それ以外
放課後児童 健全育成事業	●放課後児童クラブ	(小学生1~6年生・160名)
	都島児童館	

保育士保育補助(パート職員)募集

◎時給	1,300円(処遇改善手当含む) ※フルタイム勤務の場合 ※無資格の場合は1,114円~ ※経験年数により加算あり	◎勤務時間	開園時間7:00~18:00の中で応相談	◎待遇	社会保険・有給休暇・ 給食代補助・慶弔給付金等
		◎勤務場所	都島区・城東区の各保育施設	◎資格	保育士資格・ 幼稚園教諭免許

都島友の会の厚生活動 職員同士の交流も大切に

ひまわり親睦会



令和6年 比周会役員一同



令和6年11月9日ホテルニューオータニ大阪でコロナ禍以来ぶりにたくさんの法人職員が集まり「ひまわり親睦会」を開催しました。
永年勤続の表彰では渡久地理事長より対象者一人ひとり記念品などが手渡され長年の勤続が労われました。
余興では「ハズレなし!ピンゴゲーム」で盛り上がり、豪華な食事をいただきながらの楽しい時間となりました。

クリスマスパーティ



ピンゴゲームをしました。
国産和牛、もつ鍋セットのグルメ商品や電気毛布などのあったかグッズの景品が当たり心も温くなりました。

都島児童センター



秋は共済会の運動会! 冬はチーム対抗ボーリング!

成育児童センター



身体をたくさん動かして職員の親睦を深めました。
ボーリング大会での園長賞は「ワイヤレスイヤホン」!豪華賞品をかけて...ほとんどの職員が何年かぶりに持つ球を本気で投げ合いました。

チームで利用者さんを笑顔に！



ひまわりの郷には大勢の外国人スタッフ
が働いています。国籍は様々で、中国・
ベトナム・韓国・ミャンマー・ブラジ
ル・フィリピン等。外国の方にとって日
本語は、ある程度は話せたとしても書く
ことはなかなか難しいようです。そのた
め業務マニュアルをそれぞれの出身地の
言語に翻訳し、日本語にはフリガナをふ
り、研修を行っています。最近では携帯
の翻訳アプリを使用することで、携帯カ
メラで日本語の文章を写すだけで各国の
言語に翻訳して表示してくれるようにな

り…。分からない日本語があつたとして
も、携帯電話やタブレットさえあればそ
の場で瞬時に翻訳できるのでとても助
かっています。
外国人スタッフの方は礼儀正しくまじめ
で、いつでも明るく陽気で、その仕事ぶ
りには私たち日本人スタッフの方が学ぶ
ことも多く、良い刺激や目標となってい
ます。中には、顔を合わせるたびに体調
を気遣い元気つけてくださる方も居て
笑顔溢れる日常に感謝しています。



訪問看護ひーぐるまが
お引越します。

令和2年4月1日より訪問介護
ひーぐるまはサービスを開始し
ました。この4月で5年になり
ます。写真は開業時のもので
今までの訪問サービスは継続し
つつも、友洲・毛馬地域を重点
的にサポートしていったらと、
この度心機一転で友洲地域在宅
サービスステーションに移転し
てサービスを展開していくこと
になりました。
サービスステーションでは通所
介護（デイサービス）と居宅介
護（ケアマネジャー）、訪問介
護（ヘルパー）が一緒に協力し
合っている在宅サービスを展
開して地域の方々の支えにな
っています。3月末にひー
ぐるまの事務所の引越しがあ



り、令和7年4月1日よりリ
ニューアルした訪問介護ひー
ぐるまを展開していきます。自宅
でのお困り事があればぜひご相
談ください。



利用者さんに喜んでいただけるようスタッフ一同、毎
回企画を考えています。喜ばせようとしているスタッ
フもまた利用者さんから笑顔をいただいています。

☆ ひまわりでは毎月楽しい
行事が盛りだくさん！ ☆

“ちがいを”おもしろがる社会

『まぜこぜ社会』を目指して



令和6年12月17日（火） 13時30分
ひがみや児童センター 1階ホールにおいて参加者
は都島区施設連絡会20名、都島友の会76名、その他
4名、計100名が参加しました。

『ワークまぜこぜ社会』を目指す！
く浅く、広く、ゆるく、つながろう！
講師 東ちづる（女優）

〈コンセプト〉
いまの日本には、生きづらさを抱えている人がたく
さんいます。障害、病気、国籍……。ちがうとい
うことがハンディになる、現実があります。そのこ
とが明らかになったのが、3・11東日本大震災でし
た。

社会が不安に陥った時、マイノリティがますます追
い詰められてしまう……。そんな、成熟していない
社会は不安です。

「どんな状況でも、どんな状態でも、誰も排除しな
い、されない社会で暮らしたい」
そんな思いを胸にスタートしたのが
「Get in touch」の活動です。

“ちがいを”をハンディにするのではなく、特性として
アドバンテージにできる、“ちがいを”おもしろがる
社会がいい。

すべての人がもつと自然に、もつと気楽に、もつと
自由に暮らせる「まぜこぜ」の社会はきつと作れる。
Get in touchでは、アートや音楽、映像、舞台を使っ
て、楽しく居心地のよい空間をつくることで、まぜ
こぜの心地よさをPRしていく活動を行っています。
音楽や、アートは、さまざまながいがいを超えて、わ
たしたちをつなげてくれます。

ひとりで見る夢は妄想に過ぎないかもしれません
が、みんなで見る夢は現実になる。
この言葉を呪文のように唱えながら活動をしていま
す。ぜひ、一緒に現実にするべく、アクションをよ
ろしく願います。

一般社団法人 Get in touch 理事長／東ちづる



世の中には、寄り添えない！頑張れない！つながる
のが難しい！そういう方たちもいる。
そういう方たちは「何か迷惑かけてないか、失礼な
ことはなかったか」を気にしながら、でもどう気遣
い、どう発信すればよいかわからないのです。
普段から一緒に過ごし、その生活環境に慣れていれ
ば、お互いが理解し合えるかもしれません。
「では、どうすればいい？」一緒にいる空間、時間
を作って、新しい人間関係の構築を手助けする団体
が必要だと思つて20年くらい活動してきた体験を、
映像を交えながらの講演でした。
自閉症、発達障がい、発達遅延等のことを知つても
らうため、活動を始めた事、『まぜこぜ社会』とは
『混ぜご飯』から考えたエピソードなど、1時間と
及ぶ内容でしたが、東ちづるさんの人柄、さっぱり
としたとても気さくな方、ましてや容姿端麗、声は
きれい、よく通る身振り、手振り、映像を交えなが
らわかりやすく伝わってくるお話について聞き入って
しまいました。
内容は後日、小冊子にまとめたいと思いますのでお
楽しみに。

社会福祉法人 都島友の会理事長／渡久地歌子